京都府議会議員

堤じゅん太

活動報告 Vol.21

ごあいさつ

新型コロナの流行に続き、大雨水害被害も発生しています。被災した皆様に心よりお見舞い申し上げます。自然に対して一人ひとりの力は小さくても、皆で知恵を出し合えば大きな力になると考えています。どうか皆さんの声を聴かせて下さい。

今をよくする、未来へつなぐ。

6月議会一般質問

新卒者の就職支援 ～就職氷河期を繰り返さないように～

新型コロナは就職活動にも大きな影響を与えています。リーマンショック超えの不景気の可能性も示唆され、就職氷河期の再来が懸念されます。就職氷河期の影響を受けた世代が20年経った現在に中高年のひきこもり問題を抱えたり、経済的な安定を得られないなど、若者の就労は将来的に大きな問題となります。次世代を担う若者の雇用確保は将来の社会安定に繋がる施策なので、しっかりと対策する必要があります。

問 日本の強い経済力を維持するには、次の社会を担う人財を社会全体でどのように育成するかという視点が必要だと考えるが、若者の雇用に対する社会的な重要性と府が果たす役割をどのように認識していますか？

答 **本格的な人口減少社会を迎える中、京都が世界に誇る文化・伝統を次代につないでいくためにも、若者の役割は大きい。第二の就職氷河期を作らないようにオンラインでの就職活動支援や、職を得られなかった若者に一定期間雇用し訓練を受けながら正規雇用に繋げる京都未来塾事業を提案しています。**

問 就職氷河期に、民・官共に就職採用を絞ったことが非正規雇用やひきこもりの一因となった。公共投資には民間の景気が冷え込んだ際の刺激策としての側面がある。来年の雇用は冷え込むことが予測されるので、人へ投資する公共事業の認識に立ち次年度の新卒採用を増やすべきと考えるが御所見は？

答 **平成11～21年まで新卒採用を抑制していたため、職種や年齢構成に偏りが生じ効率的な執行体制に課題がある。長期的な視点に立ち、技術職員の積極的採用などを計画的に行っていく。今年は大卒程度の採用を134名行ったが、来年は200名に増やす予定。**

問 大手の採用が絞られる時こそ、中小企業は人材確保の好機であるので、採用に前向きな中小企業と学生とのマッチング支援や採用活動への補助制度を行ってはいかがか？また、新規採用を行った中小企業への支援金を創設し若者の雇用を後押ししてはいかがか？

答 **京都ジョブパークで中小企業へのWEBを活用した採用活動支援を開始しています。７月には有償インターンシップ相談窓口も開設する予定。既に民間の調査で就職内定率が下がるデータが出ており、更に厳しくなる予測もある。就職氷河期世代を作らないよう時期を逃さず施策を講じて参ります。**

新型コロナへの避難所対応

まず、命を守る行動を！

全国でも大雨による被害が発生していますが、乙訓地域は水害に弱い地域でもあります。一方でたくさんの人が集まる避難所は疫病の感染リスクが高まることも否めません。しかし、感染を恐れるあまり避難しなかったことによって命を落としては元も子もありません。

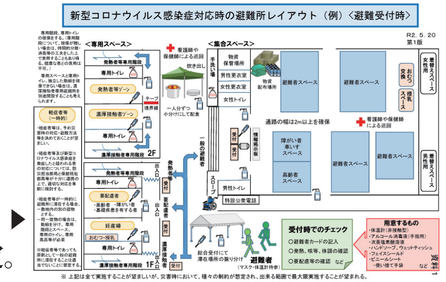
京都府では、避難所運営における新型コロナウイルス感染症への対応マニュアル作成指針を策定し、各自治体と連携をしながら、新型コロナへの感染リスクを可能な限り下げられるよう取り組んでいます。

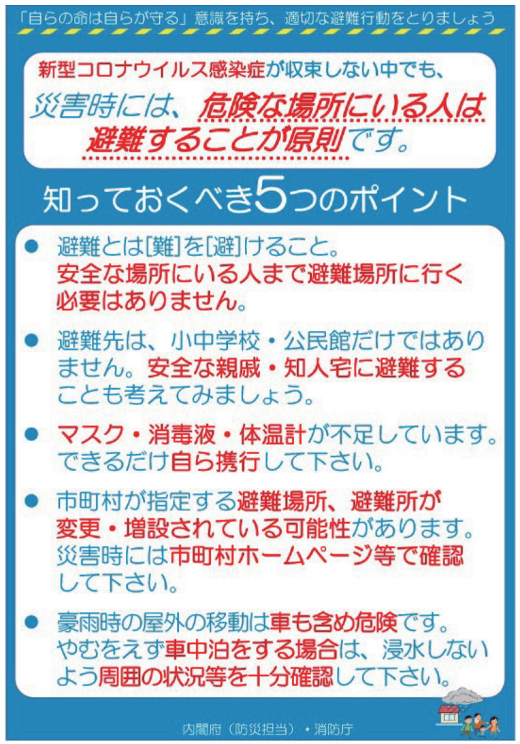
災害発生時は、まず目の前の危機を回避する避難を行って下さい。

▼京都府 マルチハザード情報提供システムへのQR

自分の住む場所にどんな危険が潜んでいるか示されます。

策定指針の中の避難所レイアウト(例) ▶ 詳細に事態を想定。





▲ 内閣府発行のチラシより

新型コロナウイルス対策
身のまわりを清潔にしましょう。

石けんやハンドソープを使った
丁寧な手洗いを行ってください。

手洗いを丁寧に行うことで、
十分にウイルスを除去できます。
さらにアルコール消毒液を
使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約100万個
石けんやハンドソープで10秒もみ洗い後流水で15秒すすぐ	1回	約0.01%（数百個）
	2回 繰り返す	約0.0001%（数個）

（森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成）

うがい・手洗い・マスク!

日本が他国と比較して新型コロナの流行を抑制できている理由の一つに、衛生に対する高い意識が挙げられます。

マスクを着用する「もらわない・移さない」対策は街中でも見られますが、うがい・手洗いは出来ていますか？改めて見直してはいかがでしょうか？

また、周囲の物に付着したウイルスから感染する事例もあります。小まめな消毒も効果的です。消毒には身近にある熱水や塩素系漂白剤の方が、最近手に入りにくいアルコールより効果があるそうです。

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、
アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤が有効です。

（新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスなどにも有効です）

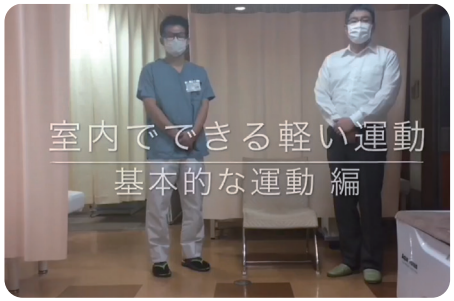
食器や箸などは、80℃の熱水に
10分間さらすと消毒ができます。
火傷に注意してください。

濃度 0.05% に薄めた上で、
拭くと消毒ができます。

※目や肌への影響があり、
取り扱いには十分注意が必要です。
※必ず製品の注意事項をご確認ください。
※金属は腐食することがあります。

※画像は厚生労働省発行のチラシより引用

堤じゅん太活動報告



▲４月１６日 自粛中の室内運動を勧める動画作成

▲４月２４日 水信玄餅を試作

▲５月１１日 医療関係者を応援しブルーライトアップ

▲６月１１日～３０日 京都府議会６月定例会

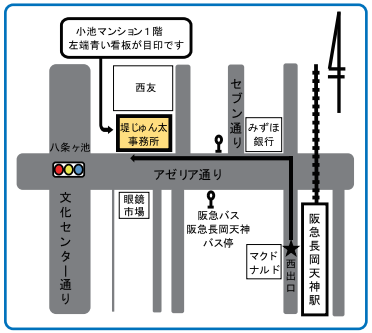
▲６月２６日 劇的なビフォア・アフター

▲７月２０日 夏の交通事故防止府民運動スタート式

堤じゅん太プロフィール

1978年６月25日生まれ
京都大学 総合人間学部 自然環境学科 卒業
長岡京市の民間企業 勤務
2009年 長岡京市議会議員 初当選
2015年 京都府議会議員選挙初当選より現在２期目
・府民環境・厚生常任委員会
・持続可能な地域社会に関する特別委員会 所属
趣味：料理・旅行・茶道・謡

▶このポスターが目印



お知らせ

新型コロナウイルス感染症流行のため、
今年の府政報告会～堤じゅん太と一歩一歩～の
開催を中止致します。
今後改めて府政報告会の場を用意致します。
どうか堤じゅん太の活動に御注目頂きますよう
宜しくお願い申し上げます。

堤じゅん太事務所

〒617-0823
京都府長岡京市長岡２丁目 2-9 小池マンション南棟１-A
TEL：075-323-7890　FAX:075-323-7430
E-mail:info@t-junta.com

ご相談はお気軽に**堤じゅん太事務所**まで